

令和3年 ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立大社小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合的な学習 の時間	神話の語り	ひと：地域の方 こと：神話
ねらい	大社町・出雲大社になじみの深い神話を地域の人に伝えるため、ふるさとの「ひと・もの・こと」に積極的に関わろうとする。		

1 取組の概要

- 1) 地域に伝わる神話(「国譲り」・「国引き」・「ノミノスクネ」)の資料を読み、神話について理解を深める。
- 2) 神話の場面を想像したり、絵本を読んで想像を広げたり、民話の会の方の助言を参考にしたりしながら、発表の仕方を工夫する。
- 3) 神話を覚え、身振り手振りや声の抑揚等を工夫しながら、体育館で地域の方に語る。

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) 地域に伝わる神話(「国譲り」・「国引き」・「ノミノスクネ」)を選択し、資料を読んで、神話や関わりのある地域の名所・行事(「杵築の岬」「稲佐の浜」「ノミノスクネ」など)への理解を深める。
- 2) 神話を語り、地域の方と関わる場面を作ること、地域の方の思いを知る。また、神話を語って、喜んでもらったりほめてもらったりする経験を通し、神話を育ててきた自分たちのふるさとへの愛着と誇りを感じることができるようにする。

(学力育成の視点から)

- 1) 地域に伝わる神話(「国譲り」・「国引き」・「ノミノスクネ」)を読み、読解力を高める。
- 2) 神話を語り、地域の方と関わる場面を作ること、表現力を高める。
- 3) 神話を語って、喜んでもらったりほめてもらったりする経験を通し、もっと知りたい調べたいという思いを高め、学習意欲の向上を図る。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) 自ら進んで他の人に語りかける経験に乏しい児童が、神話を語る活動をする中で自分の語りに自信を持つようになったり、コミュニケーションの楽しさを感じたりするようになった。
- 2) 地域の方とコミュニケーションを取る中で、ふるさと出雲の素晴らしさを再確認するとともに大切にしていきたいという気持ちを強めた。
- 3) 神話を聞いた人から、直接評価を受けたことで、自分たちの活動へのやりがいや達成感を得た。来年の4年生にも同じ活動をしてほしいと振り返るなど、大社小の伝統を受け継ぐという気持ちも高まった。

(学力育成の視点から)

- 1) 神話を語る練習を通して、自分の語りを振り返り、上手に語れるようになっていった。
- 2) 地域の方とコミュニケーションを取る中で、コミュニケーションの楽しさを感じ、笑顔で語れる子が増えた。
- 3) 神話を聞いた人から、直に評価を受けたことで、自分たちの活動への達成感を感じる子が増えた。

4 課題や今後の展望

- 1) 昨年度までは出雲大社に出向いて観光客の方に語りを聞いてもらっていたが、感染症の流行でそれができなくなってしまった。感染症の流行が収まれば、観光客の方へ語りを行い、おもてなしの心を育む活動にもしていきたい。
- 2) 来年の4年生にも同じ活動をしてほしいと振り返るなど、ふるさと出雲の素晴らしさを再確認するとともに大社小の伝統を受け継ぐという気持ちも高まった。下学年に向けてこの活動を紹介し、下学年の子どもたちの気持ちを高めたい。

